

# みえのうみ通信



日本  
海と日本  
PROJECT

1班

担当子ども記者

松尾幸亮 / 安藤 奏  
小山樺楓 / 河口みずほ

## 現役海女さんが告白 悩みは後継者不足



○海女さんに話を聞いて印象に残ったことは二つあります。一つは50〜60代の海女さんが増え、20〜40代の若い海女さんが数えるほどしかないということです。二つ目は「かちど海女」と「ふなど海女」のうち、「ふなど海女」は現在2人し



かいません。

三重は日本一海女の数が多く、日本の3分の1を占めています。そして漁師と海女には111年前から小さな魚は獲っていないというルールがあります。理由は、小さな子ども魚を獲ると魚が少なくなってしまうからです。

○真珠はどんな貝からできるか知っ



ていますか。それはアコヤガイです。ちなみに海女さんはアコヤガイのほかにサザエ、アワビなどを生活のために獲っています。海女さんが獲ったアコヤガイの中には、真珠ができる前に死んでしまうものもあります。だから死なないように貝の世話を海女さんがしてくれています。

○志摩自然学校でシーカヤックを体験しました。ライフジャケットの着方を教えてもらい、シーカヤックを漕いで無人島に行きました。海の中に少し入ってみると冷たかったです。8月でこんなにかたいのに、冬の海に入る海女さんはすごいと思いました。